



南谷真鈴
(登山家)



若宮正子
(アプリ開発者)



藤明里
(パイロット)



永山祐子
(建築家)



大隅典子
(神経科学者)

Inspiring Trailblazers

一步踏み出す勇気をもらえる!

* trailblazer「草分け、開拓者」

[特集] CNNが報じた

世界に誇る 日本人 女性たち

Leading
Women
in Japan

訳：編集部

各国・各分野をけん引する女性にスポットを当てて紹介するCNNのコーナー「リーディング・ウーマン」。このたび、5人の日本人女性を連続で一挙に取り上げ、そのビジョンや生きざまに迫った。登山家、アプリ開発者、パイロット、建築家、神経科学者と、それぞれ活躍分野は異なるが、困難な状況の中、決して諦めることなく成功をつかみ取った彼女たちの軌跡は、これから自分の道を踏み出す若者、人生の途中で岐路に迷っている人、定年で第二の人生を歩もうとしている人など、誰にとっても大きな勇気をもらえること必至だ。

南谷真鈴

エベレスト & 七大陸最高峰、日本人最年少登頂者

“壁は自分の
中にある,,

エベレストに登ろうと決意したのは13歳のとき。

十代という若さにもかかわらず資金面・体力面・技術面で周到な準備の末、日本人最年少エベレスト登頂者となった。彼女がたどってきた道と信念とは？

南谷真鈴 (みなみや・まりん)
登山家・冒険家。エベレストおよび七大陸最高峰の日本人最年少登頂者。父親の仕事の関係でアジア諸国を回りながら育つ。現在、早稲田大学政治経済学部在籍中。趣味は山岳活動、料理、スキー、マリンスポーツ全般。

最年少記録をいくつも塗り替えた女性(21)

Imagine waking up one day and deciding to climb the world's highest, toughest mountain.

“My name is Marin Minamiya. I'm 22 years old, currently a university student at Waseda University in Japan, studying political science and economics.”

■ **currently:** 現在、目下 / **political science:** 政治学 / **economics:** 経済学

In 2016, at age 19, she became the youngest Japanese person to summit Mount Everest.

“I cannot put it in words. I was just crying, and I had icicle[s], like, on my [eye]lashes, and it was absolutely beautiful. I thought that I had become somebody completely new, like I was reborn again.”

■ **summit:** ~に登頂する / **cannot put...in words:** ...を言葉に言い表せない / **icicle:** つらら / **eyelash:** まつげ / **be reborn:** 生まれ変わる

Her accolades don't end there. Minamiya is also the youngest [Japanese] person in history to scale the highest mountain peaks of each of the seven continents. And she's also reached both the North and South Poles.

想像してみてください、ある朝目を覚まし、世界の最高峰、最難関に登ると決意することを。

「私は南谷真鈴。22歳。現在、日本の早稲田大学の学生で、政治経済を学んでいます」

2016年、19歳のとき、彼女は最年少の日本人エベレスト登頂者となりました。

「言葉で言い表せません。ただ泣くばかりでした。氷がついていました、その、まつげに。ただただ美しかった。自分が全く新しい人間になったように思いました。まるで生まれ変わったかのようでした」

彼女の栄冠はそれだけではありません。南谷は、七大陸最高峰*を制覇した史上最年少の日本人でもあります。彼女はまた、北極および南極にも到達しています。